



「3.11 からの出発」

第 25 回目の小友小学校訪問

2019 年 2 月 5 日に、松岡享子名誉理事長、小関知子理事と、お話の活動をされている寺島妙子さん、崎山洋子さんが小友小学校を訪問しました。以下その報告です。

毎年 3 学期は、卒業を間近にひかえた 6 年生のために、特別のプログラムを用意します。今回は、寺島さんが「山の上の火」、松岡さんが「マレーン姫」を語りました。いつもは 2、3 学年合同なので、音楽室や図書室でお話をしますが、6 年生は、最後のお話会ということで、毎日勉強している教室を会場に行いました。とても集中してお話にひきこまれている様子がよくわかりました。

1 年生は 3 回目となるお話会でした。2 年生と一緒に「ねずみのすもう」やトルコの昔話「カラスととげ」などのお話を楽しんでくれました。私が「すもう甚句」岩手編をうたったところ「それ知ってる!」という子もいました。3～5 年生には崎山さんが「竜宮童子」、松岡さんが「一つ目、二つ目、三つ目」などを語りました。

2018 度は、毎学期「長野おはなしの会 おはなし畑」の方々に、お二人ずつご同行をお願いし、子どもたちにお話を語っていただきました。長野おはなしの会のみなさま、ご協力ありがとうございました。

小関知子 記



「子どもたちに本を贈ろうプロジェクト」



すでにお知らせしておりますように、「3.11 からの出発」復興支援事業は、「子どもたちに本を贈ろうプロジェクト」に合流し、幅広い活動をめざしています。本プロジェクトは、募金をもとに、学校図書館や幼稚園などに、本のセットを贈る取組みです。2018 年度は、32 件のお申込みがあり、「愛蔵版おはなしのろうそく」やブックリストのセットをお贈りしました。特別な災害のあった地域への贈呈を最優先します。

めざせ 100 件!

この活動にご賛同くださる方々からの募金は、現在 100 ヲ所に贈ることのできる金額に達しております。

皆様の周りに、是非この子どもたちに届けたいという場所がありましたら、どうぞお申込みください。

→詳しくは、挟み込みのチラシをご覧ください。

